

「でんきと私」 静岡県立科学技術高等学校 2年 電気工学科 櫻井 優

電気は今の時代において絶対に必要な技術であると思う。身の回りでの例を挙げると電車やインターネット、最近の大雨での事などがある。その中でも電気工事士は建造物の屋内配線工事、外線の配線工事、エアコンの工事、ビルの管理や鉄道関連の変電設備工事、線路工事、駅の設備工事など最も私達の暮らしに関わっている職業だと思う。普段はあまり目にすることできない仕事だが、省エネ化や家具の電気化などによってこれからの需要が大きく増えると思う。そのような背景があるため高校では電気工事の資格の取得を目指して勉強している。そのなかで駿遠変電所や浜岡原子力発電所の見学に行ったが、浜岡原子力発電所では津波などの災害に力を入れていると思った。東日本大震災以降は運転停止や廃炉になっている場所もあるが、運転再開のため防波堤の強化や浸水を想定した設計への変更など再運転のために様々な対策がされている事を実感する事ができた。駿遠変電所の見学では変電所内の設備の説明や建物内部の機械の説明、駿遠変電所が中部地方の発電所などの中でどんな役割をしているのか、という説明があった。仕事の内容や設備の仕組みを聞いて、今の自分の知識や技術ではまだまだ足りないという自覚ができた。

もうすぐ三年生になり、就職が近づく現実味を感じてきているので今年のうちに取りれる資格や去年は受けることができなかった、第一種電気工事士、危険物取扱者など役に立つ資格をもっと取得して電気工事の仕事で社会の役に立ちたい。